

2014年4月1日

藤沢市環境部長 金子正彦 殿

武田問題対策連絡会 代表 小林 麻須男

2014年度、武田薬品湘南研究所に関する三者連絡会議への傍聴要請

表記の件、藤沢市と武田薬品湘南研究所との間に締結された環境保全に関する協定にもとづき、毎年、(5月頃)藤沢市、武田薬品、近隣自治会の三者による連絡会議が開催されることになっております。ついては、今年度の連絡会議に関し、特に武田薬品の見解をお聞きしたい事項がありますので、下記により質問要請と傍聴の申し入れを致します。

記

1. 傍聴申請者

武田問題対策連絡会代表小林麻須男 外、当会メンバー若干名

2. 連絡会議で、下記の事項を武田薬品に質問・要請していただきたい。

① 湘南研究所で発生したバイオ排水漏洩事故調査を行った外部機関の企業名の公表並びに報告書の提出を求めている

理由～本件は、再三、武田薬品に要請したのですが、民々契約だからと拒否されてきた問題です。ところが、今年2月、武田薬品が外部研究機関の研究論文を自社の都合によいように宣伝に使った事実が発覚し、マスコミに大きく報道されました。バイオ排水事件も外部調査の結果を武田が都合のよいように報告しているかもしれません。長谷川社長はテレビで謝罪しましたが、こうした懸念を払拭し、湘南研究所の安全性を確保するためにも調査機関の企業名の公開と報告書の提出を求めるものです。

② 武田薬品は誠実をモットーとしていると再三市民に説明してきましたが、今回の降圧剤プロプレスの長年にわたる誇大広告事件は、当該医師や、患者ばかりで無く多くの市民を裏切るものです。今回の事件について、どのように考えているか武田のコメントを求めています。

また、長谷川社長は今回の事件についても第三者機関に調査を依頼すると言っていますが、企業名と調査結果を公表してもらいたい。

③ 湘南研究所の使用済み実験動物の死骸は、外部に委託して焼却することになっていますが、我々が心配した弊害が現地で起こっていないか、委託焼却場名と所在地を明らかにしてもらいたい。

3. 以上の件につき、ご検討いただき、ご回答いただくよう要請します。

以上